

2009年3月期決算概要及び今後の見通し

2009年5月20日

代表取締役社長 漆原 茂



ウルシステムズ株式会社

<http://www.ulsystems.co.jp>

[mailto: ir@ulsystems.co.jp](mailto:ir@ulsystems.co.jp)

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

本日の内容

1. 2009年3月期 決算概要
 - 総括
 - 対業績予想
 - 対前年度実績
2. 各事業の状況
3. 課題と今後の施策
4. 2010年3月期 見通し
 - 見通しの概要
5. 株主還元策について

1. 2009年3月期 決算概要

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

2009年3月期の総括

ソフトウェア事業の 黒字化

予定通り黒字化を達成。
初配当を実施。

市況の影響が響き 業績停滞

既存リピート率は高水準に維持する
も、IT投資の延期や中止により新規
案件獲得が予想を下回った。

事業提携の推進

戦略的パートナー各社との業務・
資本提携を積極的に推進。

2009年3月期連結決算の概要：対業績予想

UL Systems, Inc.

(百万円)

	2009年3月期 予想	2009年3月期 実績	差異額	差異率
売上高	2,200	1,756	△443	△20.1%
営業利益 (営業利益率)	240 (11%)	46 (2.6%)	△193	△80.6%
経常利益 (経常利益率)	240 (11%)	51 (2.9%)	△188	△78.5%
当期純利益	130	△42	△172	—

【売上高・経常利益】

経済環境悪化により新規受注が見込を下回る。継続案件も規模縮小が続き、コンサルティング事業の売上未達。ソフトウェア事業は利益重視の体制シフトにより事業黒字化したが、売上は未達。

【当期純利益】

投資有価証券評価損発生により特別損失計上。期中に子会社売却済。

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

2009年3月期連結事業別損益：対前年度実績

UL Systems, Inc.

(百万円)

事業		2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	増減額	増減率
コンサル ティ ング	売上高	1,696	1,552	△143	△8.5%
	事業費用	954	1,012	58	6.1%
	事業利益 (事業利益率)	742 (43.7%)	540 (34.7%)	△202	△27.2%
ソフト ウェア	売上高	165	204	38	23.4%
	事業費用	270	166	△104	△38.5%
	事業利益 (事業利益率)	△105 (-)	37 (18.1%)	142	—

事業利益は、売上・売上原価及び売上総利益を事業毎に配分して算出しております

【コンサルティング事業】 受注環境悪化に伴う稼働率低下により利益率が低下。
リピート率は安定的に推移し、事業利益を底支え。

【ソフトウェア事業】
収益体質強化により、事業利益の黒字化を達成。

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

2. 各事業の状況

CONFIDENTIAL

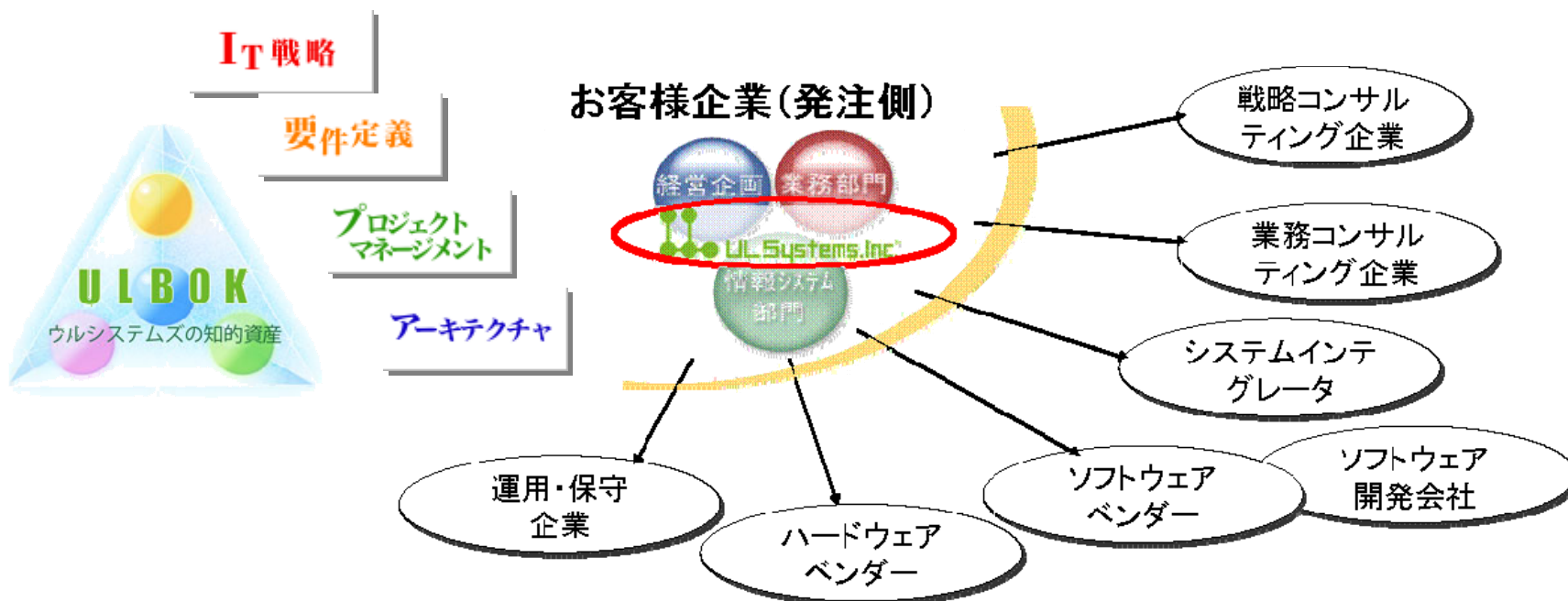
Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

コンサルティング事業の概要

事業内容

CIO支援のNo.1企業を目指し、高付加価値のITコンサルティングサービスを提供

- 情報通信、公共、流通、製造、金融などの基幹業務システム中心
- 各業界をリードする成長企業が主顧客
- 独自の知的資産「ULBOK」による「発注側支援」が特徴



CONFIDENTIAL

コンサルティング事業：事例のご紹介

東邦チタニウム様 生産管理システム

世界最強のチタン総合メーカーを目指す東邦チタニウム株式会社の
新生産管理システム構築を支援、新工場を含めた3工場で稼動開始

2008年9月11日 プレスリリース



■チタン
「軽く、強く、錆びない」金属として注目されている。使用用途は、航空機、発電所、エンジン部材、ゴルフクラブ、眼鏡など幅広い。

チタンインゴット(上図 東邦チタニウム ホームページより)と新工場(左図)。今回構築したのは、チタンインゴット生産管理システム。

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

コンサルティング事業のトピックス

概要

顧客IT投資の凍結・延期の流れを受け、一部方針転換

- 積極的な中途採用を一時中断、事業規模に応じた体制維持に変更
- 「IT投資削減」などの守りのサービスも提供
- 受注後の品質は通年で安定的に確保。PMO体制が軌道に乗った

マーケティング

積極的なセミナー開催を実施、顧客リードの獲得に注力 書籍や記事執筆によるブランディングを展開

- 独自の資産を活かした「実践トレーニング」実施。100社強のリード獲得
- 当社主催セミナー「ULSDAY」実施。2009年3月13日
- 書籍執筆、連載記事の執筆等、業界メディアへの露出を強化

提携

事業シナジーを生むパートナーと資本・業務提携を実施

- SBIネットシステムズ(株)(2008年8月8日発表) - 金融市場への展開
- (株)アイ・エム・ジェイ(2008年11月26日発表) - ネットマーケティング市場への展開

ソフトウェア事業の概要

流通業界
向け

流通サービス業の企業間向け電子商取引パッケージ「UMLaut/J-XML」

- インターネットをベースとした企業間取引プロトコル「流通BMS」に準拠
- 流通・小売業、卸売り業、取引先各社へのソリューションを展開
- ライセンス販売モデルから、安定収益モデルへシフト



ドキュメント管理

(株)ジャストシステムとの協業によるドキュメントソリューション「Document Intelligence」

- 企業内知的資産の戦略的活用を支える新しいソリューションを共同で開発
- (株)ジャストシステム様のパートナーとも協業し、広く展開を狙う



子会社売却

オープンソースCRM(株)の当社保有株式を譲渡

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

ソフトウェア事業: UMLaut/J-XML トピックス

概要

利益重視の体制にシフト、事業黒字化を達成

- 先行投資ではなく、ライセンス販売と保守及び開発の連携モデルで事業黒字化
- 大型案件を受注済み。パートナーと一緒に仕上げていく。保守も期待。

事例

大阪商工会議所様など地域VAN業者各社に採用
2008年8月導入開始

(2008年8月20日プレスリリース)

協業

パートナー各社との協業の強化

- (株)リコー(2008年4月8日発表)、NECソフト(株)(2008年4月10日発表)、富士ソフト
ディーアイエス(株)(2008年7月25日発表)

新製品

Web-EDIと流通BMSを統合した業界初「UJX-Direct Web」
2008年10月販売開始

(2008年10月6日プレスリリース)

3. 課題と今後の施策

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

コンサルティング事業の施策

概況

優良企業の「戦略的IT投資」は回復傾向。機を逃さない

- 一旦ストップしたIT投資も、優良企業から回復傾向
- 当社の有償稼働も、2008年末を底に回復基調
- 現有体制で、しっかりと利益成長を実現していく方針

営業

十分な新規案件の積極的獲得に注力

- 有力提携先とのシナジーを活かした新規顧客への営業活動を実施
- 新規顧客への営業活動の専任組織立ち上げ(「事業推進企画室」)

収益性

品質維持と安定収益モデルの構築

- 軌道に乗っている品質確保の仕組みを継続的に実施
- 運用保守やアウトソースなどの新たな安定収益モデルの構築に挑戦

2010年3月期の事業目標：売上高16億円、事業利益6億円

ソフトウェア事業の施策

概況

ソフトウェア事業単独での営業黒字化を目指す

- 流通向けソフトウェアパッケージ「UMLaut/J-XML」の単体営業黒字を目標
- 着実な利益貢献を優先した体制を維持

J-XML

流通向けソリューション「UMLaut/J-XML」

- 受注済みの大型案件を今年度中に成功裏に納品、検収させる
- 保守の売上が積みあがっていくモデル

新規

新しいソリューションの事業化

- (株)ジャストシステムとの提携によるドキュメントソリューションツール「Document Intelligence」を本格展開開始
- その他、事業パートナーとの新しいソリューションを模索

2010年3月期の事業目標：売上高2億円、営業利益黒字化

4. 2010年3月期 見通し

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

2010年3月期見通しの概要

(百万円)

	2009年3月期(連結実績)		2010年3月期(単体見通し)	
	第2四半期累計	通 期	第2四半期累計	通 期
売上高	828	1,756	650	1,800
経常利益 (経常利益率)	△12 (-)	51 (2.9%)	△20 (-)	180 (10%)
当期純利益	△15	△42	△10	100

市況回復時の急拡大に備えつつ、安定的な収益モデルの構築に注力

新しいビジネスチャンスに対しての種蒔きを実施

5. 株主還元策について

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.

株主還元策

配当

創業以来初の配当 1株あたり100円を実施

- ソフトウェアの事業黒字化を達成したことから、初の配当を実施
1株あたり **100円**

当社の配当方針

連結当期純利益の20%~30%を目安に、完全業績連動で実施

自己株 取得

自己株式の追加取得を実施

- 当期末までに取得した自己株式
累計 **1,849株** (発行済み株式総数の**3%**)
(ご参考: 2009年4月末日現在 **2,279株 (3.9%)** 取得済み)
- 今後も株価動向等を参考に、積極的に実施していく予定

本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ
ウルシステムズ株式会社
IR担当
TEL:03-6220-1416
E-mail: ir@ulsystems.co.jp

CONFIDENTIAL

Copyright © 2009 UL Systems, Inc. All rights reserved.